

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-09-03

音曲和集

音曲和真



東京大学

2843

ア イ ウ エ シ
カ キ ク ケ コ
サ シ ス セ ソ
タ ツ テ ト
ナ ニ ヌ ノ
ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ

鼻ト喉ニ毎ス

歯ニ毎ス

歯ト舌トニ毎ス

眼ニ毎ス

鼻ト眼トニ毎ス

唇ト舌ト

唇ト舌ト

能楽研究所

ヤ井ユエヨ

臭ヨリ出ル

ウリルシロ

舌シフル

ワ井ウエ

鼻ト喉ニ毎ス

カ井ウエ

カ井ウエ

カ井ウエ

カ井ウエ

一 この事 カ あらやう シ 此 上 へ

の イ 人 カ なる カ 此 上 へ 始 上 上 カ 行 カ ク カ ツ

同 カ あ カ り カ ツ カ 同 カ 也

一 カ ひ カ く カ り カ 事 カ カ 人 カ 中 カ や カ り カ 下 カ

ひ カ の カ 上 カ の カ 中 カ の カ 下 カ の カ す カ 又 カ 此 カ の カ 事

カ カ 人 カ の カ 事 カ カ 上 カ 中 カ ト カ 海 カ 月 カ 事 カ

カ カ の カ 事 カ カ 上 カ 中 カ ト カ 海 カ 月 カ 事 カ

カ カ の カ 事 カ カ 上 カ 中 カ ト カ 海 カ 月 カ 事 カ

有他混洗情申枚ニハナクハナクハナクハナク

二字のト言書トハナクハナクハナクハナク

一席始上ハナクハナクハナクハナクハナク

ら

一之ト言ハナクハナクハナクハナクハナク

ハナクハナクハナクハナクハナクハナク

一ニ言ハナクハナクハナクハナクハナク

ハナクハナクハナクハナクハナク

一ニ言ハナクハナクハナクハナクハナク

一ニ言ハナクハナクハナクハナクハナク

一ニ言ハナクハナクハナクハナクハナク

一ニ言ハナクハナクハナクハナクハナク

一ハナクハナクハナクハナクハナクハナク

一又ハナクハナクハナクハナクハナクハナク

うせぬ せぬ ちもぬ ちもぬ ちもぬ

んえぬ

一 花とてこまり 春の... 移るぬを

花をりり 又まゆる... せしむる

移るぬを... せしむる

一 又まのつとらゆ ちもぬありけり... ちもぬありけり

ちもぬありけり... ちもぬありけり

ゆきまぬ... ちもぬありけり

ちもぬありけり... ちもぬありけり

花のしつひ... ちもぬありけり

ちもぬありけり... ちもぬありけり

物いへり... ちもぬありけり

て... ちもぬありけり

ちもぬありけり... ちもぬありけり

わかすんや、まよあめはばよびく
ふいのさかて、びつ一脈トや髪鬘のり
しゆり、まよのふゆうか、るし事を
ひりきりしよけ一脈を事髪のひるや
まよのさかた竹のしりきり
まよ
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり

わかすんや、まよあめはばよびく
ふいのさかて、びつ一脈トや髪鬘のり
しゆり、まよのふゆうか、るし事を
ひりきりしよけ一脈を事髪のひるや
まよのさかた竹のしりきり
まよ
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり

わかすんや、まよあめはばよびく
ふいのさかて、びつ一脈トや髪鬘のり
しゆり、まよのふゆうか、るし事を
ひりきりしよけ一脈を事髪のひるや
まよのさかた竹のしりきり
まよ
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり
まよのさかた竹のしりきり

一 くり上のねかを入るー 林とた／＼能く

一 ちかくカシ入ちツ直ーるー

一 入ちまのりよまにうすももも入ち

一 ちまのりよまのりよまのりよまのりよま

一 又ニまのりよまのりよまのりよま

一 ちまのりよまのりよまのりよま

一 ちまのりよまのりよまのりよま

一 林とた／＼能く入ちまのりよまのりよま

一 ちまのりよまのりよまのりよま

一 竹とまのりよまのりよまのりよま

一 ちまのりよまのりよまのりよま

一 ちまのりよまのりよまのりよま

一 ちまのりよまのりよまのりよま

一 ちまのりよまのりよまのりよま

日くまはなごもとのしひらかきまひらひで
のここのこまひらひの又かまきまきま
一よりうのしひらひ作馬よひらきまら小ぢま
夫のゆきまきまきまきまの
一とこト云まきまきまきまきまきまの
後芽っ存し
一よりト云まきまきまきまきまきまの

弄まきまきまきまきまきまきまきま
一入とまきまきまきまきまきまきまきま
ゆのゆまきまきまきまきまきまきまきま
一息吹のまきまきまきまきまきまきま
とてまきまきまきまきまきまきまきま
一旬のひとまきまきまきまきまきまきま

息ヲ事^ニツグ息^ヲ短^ク捨^テ反^シて
字^ノシ^レ息^ヲ言^フ出^スト^リ詞^ノ内^ニあ^ルた^ニ
習^ハル^ルあ^らず^シゆ^かく^トの^ス一^ニモ^ツ呼^ス
吸^ノ息^ト言^フ切^リ息^ヲ賢^ク使^フ出^ス息^ス
一 息^ヲ肺^ニ入^ルる^ル心^ノ神^ノ氣^ノの^力が^多き
一 詞^ノ内^ニあ^ルた^ニ記^スる^ルあ^らず^シゆ^かく^トの^ス一^ニモ^ツ呼^ス
り^あら^ずた^ニ記^スる^ルあ^らず^シゆ^かく^トの^ス一^ニモ^ツ呼^ス

あ^らず^シゆ^かく^トの^ス一^ニモ^ツ呼^ス
序^ノ破^ルる^ルあ^らず^シゆ^かく^トの^ス一^ニモ^ツ呼^ス
再^云ふ
一 句^ノ内^ニあ^ルた^ニ記^スる^ルあ^らず^シゆ^かく^トの^ス一^ニモ^ツ呼^ス
一 句^ノ内^ニあ^ルた^ニ記^スる^ルあ^らず^シゆ^かく^トの^ス一^ニモ^ツ呼^ス
出^ス息^ス一^ニモ^ツ呼^ス一^ニモ^ツ呼^ス一^ニモ^ツ呼^ス

と云の宋女ノ人々ノ一ニハはのそこと

と云の宋女ノ人々ノ一ニハはのそこと

一 腸ト云てノ瀉自ノ眼ノ方ノく瘰ク

とてノ方ノく瘰クノひト云云

とてノ方ノく瘰クノひト云云

一 鼓リヨシ打を心平生ノく瘰ク

とてノ方ノく瘰クノひト云云

はと云の宋女ノ人々ノ一ニハはのそこと

号云、い、と云の宋女ノ人々ノ一ニハはのそこと

と云の宋女ノ人々ノ一ニハはのそこと

一 人ノりノく瘰クノ花ノみ多迷ナリ口傳

一 白身ノ人々

一 本草ノ人々 右ノ二ノ書我ノ一ニハはのそこと

一 四年ノ人々ノ位ノゆりノト云云

位ゾウくつめてまおトナリ他曲奉^レ

〜いぢおおのまのSONのいふかゝり

一のいのぼトまのむき^中ま^下とてにけう〜いお

〜いね ばちこ

一はじりあひのまのむき^中ま^下とてにけう〜いお

はめてまのまのむき^中ま^下とてにけう〜いお

あゝのいふいふまのむき^中ま^下とてにけう〜いお

はちろい

一のそおまトまのむき^中ま^下とてにけう〜いお

ののいふいふまのむき^中ま^下とてにけう〜いお

まのむき^中ま^下とてにけう〜いお

まのむき^中ま^下とてにけう〜いお

ののいふいふまのむき^中ま^下とてにけう〜いお

まのむき^中ま^下とてにけう〜いお

「ロモるちののちかきーらなまり のん

ふーい

「ロシ切ふ切ストまのり のの何者とも

「んツ物にツ切サレの ト... の海花のて

「仲よそて ト...

「付わトまの の灯とげ ト...

「ののち ト... といけ ト...

「んーわくれ ト... 柳あツつら

「柳花一枝 ト... 柳子ツ付に

「柳多す ト... 柳ツ捨テ ト...

「耳え ト... 柳子 ト... の息ノ次 ト...

「んツ ト... 柳子 ト... 柳子 ト...

「くげノ柳子 ト... 柳子 ト...

「柳子 ト... 柳子 ト...

けの程ちつとまの　まやまのまのま
まのこトはんとり君らりか常ノ数

一本柳のトまのこらんノらん南に極むす
らんこの又ゆめはまのすまのらんらん
里のまのまのわりのまのまのまのりか
本ノ程トまの　ゆめはまのまのまのま
外ノ二明也　魚群とまのまのま

しんま　まのま

一二のま　まのまのまのまのまのまの
はまのまのまのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまのまのまのまの

歌云

ハツ物ふニツの本地四めのこす
ちツめのわさるのこり本地の

和音のまは東のトミヤシのニツ目ヨリ也
又次ノニツ目之梅のトミ知ノ又次ノニツ
目ノ字物とゆりひて後ノニツ目と云
ぬをヨリすゆ(ト)

一 南ト入トつた 外ト南ト 東ト北ト河ト

こしと内と河の初より

一セのやート云

- ち
 - ち
 - ち
 - ち
 - 中
 - ち
 - ち
 - ち
 - ち
- 物こよ入ーくちき
西よ南のくちちき
南のちりちり

一 一 洞二機 三 舞ト云先 何えも洞云

平^らな^らま^まを^をも^もに^にあ^あら^ら同^同ジ^ジふ^ふな^な息^息ツ^ツの^の
入^入口^口に^にり^り着^着ツ^ツ出^出て^てま^まは^はす^すの^の洞^洞子^子有^有り
一^一ふ^ふり^りつ^つげ^げト^トま^まの^のり^りの^のツ^ツは^はき^き知^知一^一腹^腹ツ^ツを^をり
と^とこ^こら^らい^いツ^ツ所^所出^出て^てお^おツ^ツ出^出ト^トお^おら^らま^ま
ふ^ふき^きに^にお^おス^スつ^つく^くす

一^一お^おツ^ツつ^つふ^ふに^に又^又つ^つり^りる^る着^着わ^わり^り 再^再に^に
わ^わら^らお^おま^まの^のそ^その^のけ^けの^のひ^ひを^をて^てあ^あま^まと^とお^おわ^わる

ソ^ソて^てす^すの^の声^声よ^よつ^つら^らの^のや^やせ^せん^んや^やら^らり
着^着の^の物^物す^すと^とい^いふ^ふま^まの^のひ^ひを^をお^おの^のひ^ひま^ま
す^すの^のけ^けの^のあ^あら^らト^トあ^あの^のじ^じの^のら^らト^トま^まの^の
き^きん^んに^にお^おわ^わる^るト^ト又^又一^一
あ^あの^のわ^わら^らの^のけ^けの^のあ^あの^のま^まの^のつ^つら^らの^のあ^あら^ら
一^一く^くの^のら^らの^のあ^あの^のま^まの^のつ^つら^らの^のあ^あら^ら

一^一口^口を^をら^らの^のま^まの^のあ^あの^のま^まの^のつ^つら^らの^のあ^あら^ら

きうらんをまこぼしてつたわら曲の
をまのぼしうく響きしと口古く
叶ドまトモ武のまはまのおおむす
或のえんくすこのあつていすこまこひひ
鳴の湖子ツまじさののりあつ
まのまはまぬ二無合なる湖子又割の
湖のあつてなるあつた何とまの湖

白もま曲のあつてすし能くま
なまのま

一 呂律ノリ 一 越 双湖を呂流を
平洞盤一 律 慧之 若 律 呂 呂
中 律 之 呂 律 混 合 一 洞 子 ト 之 ツ 之
さのこりねままも月と
一 文の東之 高ハソル 角ハスクハ 徴の

元羽八念

一 下
行 一
平 一
傍 一
下 一

双 一
息 一
莫 一
膏 一
四 一
神 一
上 一

官商角徽羽
一 平 双 黄 四
行 傍 几 亦 神
平 下 莫 盘 上
下 几 双 亦 神 一

双 一 平
几 亦 上 行 旁
上 四 一 平 下
亦 神 行 旁 双
四 上 平 下 几
神 一 旁 双 黄
上 行 下 几 亦

一呂律ノ吟

一宮

律 一宮

呂也

角 一宮



高の位り也。ハ、その下ハ、の音をうつり
 して、命をうつり、この音ハ、おの國もか
 り、海をわたる。この角ハ、おの國もか
 り、海をわたる。この徽ハ、おの國もか
 り、海をわたる。この羽ハ、おの國もか
 り、海をわたる。

ひろく

一 早子洞子 春 火 夏 土 秋 金 冬 水

双 丑 一 平 四

一 青洞子 同 時 七 月

西平二秀 三下 四 双 六 六 丑

七 赤 八 四 九 祿 十 上 土 二 丑 行

一 新宅ノ洞子 一 雙 黃 鏡 シ 一 仏

一 舟ノ洞子 一 雙 之 若 若 之 付 一 舟 洞 子 一 雙

一 雙 入 一 舟 一 雙 一 舟 一 雙 一 舟 一 雙

右に一札 活 親 世 宗 旨 永 隆 一 札 傳

抄 本 一 字 写 之 也

秋 田 本 部

天 正 十 二 年 九 月

一 舟 一 雙

能樂研究所



